

令和7年度 兵庫県立加古川西高等学校 学校評価アンケート結果 「4点満点」表示

	生徒への質問項目	生徒				保護者への質問項目	保護者等				教職員への質問項目	職員
		1年	2年	3年	全体		1年	2年	3年	全体		
総務企画部	避難方法を記した学校の見取り図のクラス掲示や避難行動訓練を実施するなどして、地震・火災・津波などの危機対応や不審者対応ができています。	2.9	3.2	3.3	3.1	避難方法を記した学校の見取り図のクラス掲示や避難行動訓練を実施するなどして、地震・火災・津波などの危機対応や不審者対応ができています。	3.3	3.5	3.5	3.4	地震・火災に対する避難行動だけではなく、大雨による洪水や地震による津波への対策マニュアルや不審者対応マニュアルの再点検をした。	3.3
	人権学習を通して、確かな人権意識を身につけ、差別なき社会の形成に積極的、意欲的に貢献できる人間を育成する取り組みが行われている。	3.4	3.5	3.5	3.5	人権学習を通して、確かな人権意識を身につけ、差別なき社会の形成に積極的、意欲的に貢献できる人間を育成する取り組みが行われている。	3.4	3.6	3.4	3.5	人権学習を通じて、確かな人権意識を身につけ、差別なき社会の形成に積極的、意欲的に貢献できる人間を育成するための取組を実施した。	3.4
	図書館の新刊を手に取りやすい場所に配置したり、「読書感想文コンクール」への応募や、「貸出図書」が実施されることで、本に親しむ機会が増えている。	2.4	2.7	2.7	2.6	図書館の新刊を手に取りやすい場所に配置したり、「読書感想文コンクール」への応募や、「貸出図書」が実施されることで、本に親しむ機会が増えている。	2.7	3.0	3.0	2.9	新刊の配置を工夫し、書架整理を進めながら図書室の環境整備に努めるとともに、「読書感想文コンクール」への応募や貸出図書の実施により、本に親しむ機会を増やした。	3.5
	学校行事や部活動での活躍などについて、ホームページなどを通じてわかりやすく広報されている。	3.1	3.2	3.2	3.1	加古川西高のホームページに、学校行事や部活動での活躍などがわかりやすく掲載されている。	3.3	3.2	3.4	3.3	管理職、各学年、各部と連携を取りながら、全校生に向けた講演会等の企画を行った。	3.4
	「総合的な探究の時間」について、年間計画に基づいて、テーマに沿った内容が実施されている。	3.5	3.5	3.4	3.5	「総合的な探究の時間」について、年間計画に基づいて、テーマに沿った内容が実施されている。	3.4	3.4	3.6	3.5	各学年の年間計画を元に「総合的な探究の時間」の3年間の計画を作成するとともに、担当者会議で協議・調整しながら担当者研修を行った。	3.2
	西高の特色類型の内容について、ホームページなどを通じてわかりやすく広報されている。	3.1	3.2	3.2	3.2	加古川西高の特色類型の内容について、ホームページなどを通じてわかりやすく広報されている。	3.3	3.3	3.3	3.3	特色類型の教育内容の再検討と広報活動をおこなう。	3.4
夏と秋のオープンハイスクールや中学校訪問によって、中学生やその保護者に加古川西高の学校行事、授業や部活動の内容をわかりやすく紹介されている。	3.4	3.5	3.6	3.5	夏と秋のオープンハイスクールや中学校訪問によって、中学生やその保護者に西高の学校行事、授業や部活動の内容をわかりやすく紹介できている。	3.6	3.6	3.6	3.6	学校のホームページ、中学校訪問、夏・秋オープンハイスクールなどを通じて、充実した広報活動を行うことによって本校の教育活動を周知できた。	3.7	
教務部	生徒個々の興味・関心、進路目標に応じた「類型」、「選択科目」が用意されている。	3.5	3.5	3.4	3.5	生徒個々の興味・関心、進路目標に応じた「類型」「選択科目」が用意されている。	3.5	3.4	3.5	3.5	教育課程検証し、改善を図り、類型の在り方を検討することができた。	3.3
	プロジェクターやタブレットなどのICT機器の有効活用により、「教員⇄生徒」双方向の授業が実践されている。	3.4	3.4	3.0	3.3	プロジェクターやタブレットなどのICT機器の有効活用により、「教員⇄生徒」双方向の授業が実践されている。	3.4	3.4	3.3	3.4	ICTを活用し、「教員⇄生徒」双方向の授業を実践するとともに、校務支援システムを有効に活用することができた。	3.4
	授業において、それぞれの教科の特徴に合った授業形式や教材が使用されている。	3.5	3.4	3.4	3.4	授業において、それぞれの教科の特徴に合った授業形式や教材が使用されている。	3.4	3.3	3.6	3.4	BYOD、記述式採点ソフト、校務支援システムなど、有効利用できるような研修を計画した。	3.8

令和7年度 兵庫県立加古川西高等学校 学校評価アンケート結果 「4点満点」表示

	生徒への質問項目	生徒				保護者への質問項目	保護者等				教職員への質問項目	職員
		1年	2年	3年	全体		1年	2年	3年	全体		
生徒指導部	交通安全教室を通じて生徒の交通マナーの向上と交通事故防止、特に自転車通学についての安全意識の向上の指導が行われている。	3.3	3.5	3.5	3.4	交通安全教室を通じて生徒の交通マナーの向上と交通事故防止、特に自転車通学についての安全意識の向上の指導が行われている。	3.2	3.4	3.4	3.3	交通安全教室を通じて生徒の交通マナーの向上と交通事故防止、特に自転車通学についての安全意識の向上の指導が行われた。	3.2
	定期的にいじめアンケートと個人面談が実施されており、いじめを見逃さない体制ができています。	3.4	3.6	3.6	3.5	定期的にいじめアンケートと個人面談が実施されており、いじめを見逃さない体制ができています。	3.4	3.4	3.5	3.4	いじめを見逃さないために、定期的なアンケート実施と個人面談を通じて学年との連携を密にすることができた。	3.6
	自主自立の精神を身に付けられるように、担任からの助言や学校行事等に工夫がある。	3.3	3.4	3.5	3.4	自主自立の精神を身に付けられるように、担任からの助言や学校行事等に工夫がなされている。	3.4	3.4	3.6	3.4	日常生活、各行事を通じて自主自立の精神が育つ活動を支援するとともに、学校行事をできるかぎり実施して、生徒同士が交流できる場を設けた。	3.3
	安全で健康的な学習環境が整備され、感染症等の予防対策や適切な指導が行われている。	3.2	3.4	3.5	3.4	安全で健康的な学習環境が整備され、感染症等の予防対策や適切な指導が行われている。	3.3	3.4	3.5	3.4	安全で健康的な学習環境が整備され、感染症等の予防対策や適切な指導が行われている。	3.6
	学校での健康診断に基づいて、自分の健康状態の把握や必要に応じた病院受診等の指示が行われている。	3.5	3.6	3.6	3.6	学校での健康診断に基づいて、自分の健康状態の把握や必要に応じた病院受診等の指示が行われている。	3.6	3.6	3.6	3.6	定期健康診断や各種保険調査を的確に実施することで、生徒の状況を把握した。	3.8
	心身の健康問題や困りごとがあった場合、養護教諭やキャンパスカウンセラーに相談しやすい体制が整備されている。	3.3	3.4	3.5	3.4	心身の健康問題や困りごとがあった場合、養護教諭やキャンパスカウンセラーに相談しやすい体制ができています。	3.3	3.3	3.4	3.3	相談しやすい環境を整備し、キャンパスカウンセラー等と連携しながら、特別な配慮や支援を必要とする生徒等の実態把握に努めて適切な教育的支援を行った。	3.8
心肺蘇生や熱中症等に対する講習会の実施やAEDや担架の複数箇所への設置など、生徒の安全を守る体制がとれている。	3.6	3.6	3.6	3.6	心肺蘇生や熱中症等に対する講習会の実施やAEDや担架の複数箇所への設置など、生徒の安全を守る体制ができています。	3.4	3.5	3.6	3.5	全教職員が事故発生時に的確な対応を行えるように、関係機関との連携のもと各種研修を実施し、校内救急体制を向上させた。	3.5	
進路指導部	生徒個々の進路目標に応じた入試情報等に関する講演会が実施されている。	3.1	3.3	3.5	3.3	生徒個々の進路目標に応じた入試情報等に関する講演会が実施されている。	3.1	3.2	3.5	3.2	生徒個々の進路目標に応じた入試情報等に関する講演会を実施した。	3.6
	保護者対象の進路講演会や説明会、三者面談、通信等を通じて、各学年に適切な進路情報が提供されている。	3.4	3.5	3.6	3.5	保護者対象の進路講演会や説明会、三者面談、通信等を通じて、各学年に適切な進路情報が提供されている。	3.3	3.4	3.6	3.4	保護者対象の進路講演会や説明会、三者面談、通信など、保護者への情報提供を行った結果、進路意識の向上が見られた。	3.5
	大学入学共通テスト4年経過の検証および対策、新科目および入試の情報を収集・整理するなど、変化する近年の入試に対応した授業が行われている。	3.1	3.3	3.5	3.3	大学入学共通テスト4年経過の検証および対策、新科目および入試の情報を収集・整理するなど、変化する近年の入試に対応した授業が行われている。	3.1	3.2	3.4	3.2	大学入学共通テスト4年経過の検証および対策、新科目および入試の情報を収集・整理するなど、変化する近年の入試に対応した授業が行われている。	3.4

令和7年度 兵庫県立加古川西高等学校 学校評価アンケート結果 「4点満点」表示

	生徒への質問項目	生徒				保護者への質問項目	保護者等				教職員への質問項目	職員
		1年	2年	3年	全体		1年	2年	3年	全体		
第1学年	授業を中心に学習習慣を身に付けるとともに、小テストや休日課題などにも意欲的・主体的に取り組んだ。	3.0	—	—	—	授業を中心に学習習慣を身に付けるとともに、小テストや休日課題などにも意欲的・主体的に取り組んでいる。	3.1	—	—	—	授業中心の学習習慣を身につけさせる。小テストなども活用し、リズムよく学習できる環境を整えた。	3.4
	LHRや「総合的な探究の時間」等を通じて自分自身を見つめるとともに、友人との信頼関係を築きながら、目標に向かって共に成長できた。	3.3	—	—	—	LHRや「総合的な探究の時間」等を通じて自分自身を見つめ、友人との信頼関係を築きながら、共に目標に向かって成長できている。	3.1	—	—	—	LHR、探究活動、学校行事などを通して、自己の役割を考えて行動するように促す。共に信頼感をもって目標に向かって活動しようとする態度を育てた。	3.6
	学年通信やHP、スクリーン等を通じて、学校の情報や生活の様子を保護者に伝えるとともに、保護者会や三者面談を通じて双方向のコミュニケーションを円滑に行い、相互理解に務めることができた。	3.2	—	—	—	学年通信やHP、スクリーン等を通じて、学校の情報や生活の様子を保護者に伝えるとともに、保護者会や三者面談を通じて双方向のコミュニケーションを円滑に行い、相互理解に務めることができている。	3.1	—	—	—	学年通信やHP、スクリーン等を通じて、学校の情報や生活の様子を保護者に伝えるとともに、保護者会や三者面談を通じて双方向のコミュニケーションを円滑に行い、相互理解に務めた。	3.7
第2学年	目標を立てさせ、学習・生活習慣の確立を図るとともに、自己を振り返り、反省点を活かして向上に努めた。	—	3.3	—	—	目標を立てさせ、学習・生活習慣の確立を図るとともに、自己を振り返り、反省点を活かして向上に努めている。	—	3.1	—	—	目標を立てさせ、学習・生活習慣の確立を図るとともに、自己を振り返り、反省点を活かして向上に努めていた。	3.3
	授業を中心とした学習習慣を確立し、進路目標を設定し、その達成に向けて自主的に学習に取り組んだ。	—	3.2	—	—	授業を中心とした学習習慣を確立し、進路目標を設定し、その達成に向けて自主的に学習に取り組んでいる。	—	3.0	—	—	授業を中心とした学習の中で予習・授業・復習のサイクルを確立させ、各自の進路目標を設定し自主的に学習する姿勢を養う取組を行った。	3.2
	個人面談や学年通信、HP等を通じて、学校行事のねらい、教師・仲間の思いに触れながら、学校の情報や生活の様子を保護者に伝えるとともに、学校での生活について保護者や友人と共有することができた。	—	3.4	—	—	個人面談や学年通信、HP等を通じて、学校行事のねらい、教師・仲間の思いに触れながら、学校の情報や生活の様子を保護者に伝えるとともに、学校での生活について保護者や友人と共有することができている。	—	3.4	—	—	定期的に二者面談・三者面談を行い、学年通信やHP等を通じて学校の情報や生活の様子を保護者に伝えるとともに、7月・10月に保護者会を開催し情報共有を図り、相互理解に努めた。	3.7
第3学年	日々の生活の充実感・達成感の向上に向け、スケジュール管理や振り返りを大切にするような生徒主体の取組をした。	—	—	3.4	—	日々の生活の充実感・達成感の向上に向け、スケジュール管理や振り返りを大切にするような生徒主体の取組ができている。	—	—	3.4	—	日々の生活の充実感・達成感の向上に向け、スケジュール管理や振り返りを大切にするような取組や行事に対して、生徒主体で取組をさせた。	3.7
	学力実態と希望進路に応じた教材や時機を図りながら提供される補習講座・個別指導などにより、意欲をもって継続的に学習に取り組むことができた。	—	—	3.5	—	学力実態と希望進路に応じた教材や時機を図りながら提供される補習講座・個別指導などにより、意欲をもって継続的に学習に取り組むことができている。	—	—	3.6	—	補習講座・個別指導などを数多く設定し、時機を図りながら提供するとともに、学力実態と希望進路に応じて教材を精選し、生徒が補習講座・個別指導など環境を提供している。	3.8
	学年通信等を通じて学校の情報等を保護者に明確に伝えられ、定期的な二者面談・三者面談、5月・10月の保護者会等を開催により、進路についての情報を共有することができた。	—	—	3.6	—	学年通信等を通じて学校の情報等を保護者に明確に伝えられ、定期的な二者面談・三者面談、5月・10月の保護者会等を開催により、進路についての情報を共有することができている。	—	—	3.7	—	学年通信等を通じて学校の情報等を保護者に明確に伝えられ、定期的な二者面談・三者面談、5月・10月の保護者会等を開催により、進路についての情報を共有できる環境を提示している。	3.9